

## 令和3年度 意見 要望

### ① 5歳児(男児) 祖母より(職員の対応について、口頭で申し入れ～松浦対応)

「孫が言うことなので」ということを前置きして、「子どもに親のことを言うのはやめて欲しい、子どもに言わないではっきり本人(母親)に言って欲しい。母親は送迎したくないといっている。とのいう申し入れがあった。

祖母には担当職員に確認した後回答することにした。担任に聞き取りをしたところ子どもの手に傷があり、当日のプール利用については家庭から【可】の連絡があったが傷の具合からプール遊びは不適用と判断した経緯があった。本人はプールに入りたかったが、衛生上傷がある場合は不可とすることが約束事になっている。その際、園児に「お母さんこの傷のこと知っている?」と担当が言ったことが母に伝わったと判断した。

園児に対して親のことを言うてはいないとのことだった。だが、保育中での私語(必要のない話)があったことは事実なのでそういう部分はつつまなければならない。保護者への対応や保育中の言動についても気を付けるよう全職員に周知した。

迎え時に祖母ともう一度面談した。初めは気持ちが沈んでいる様子だったが、経緯を丁寧に説明した。話を聞いているうちに笑顔になりすっきりしたようであった。

その後、祖母、母親とも送迎で保育所へ来所、担当保育士とも普通に会話している。

### ② 1歳児(女児)母より(遊ばせ方について、電話口で申し入れ～所長対応)

自然状況等を把握して安全に遊ばせて欲しいとの意見があった。  
(そり遊びで顔面に傷をおい、当日の通院はできず、後日通院となった。)

保育所としての配慮が欠けていたことを謝罪した。  
また、保育者で雪あそびについてを再確認すると共に子どものけがについては経過観察をすること、報告をすることを確認しあった。

意見、要望については2件であった。意見については保育者でも話し合い共通認識をもち、保育をすすめていくようにした。

保護者や祖母への対応の仕方の難しさも感じたが、保育者でどのようにしていけばよいのか考える機会となった。

雪遊びについては保育者1人ひとりが安全について考える機会になったと共に、怪我をさせてしまった時の報告、経過観察が大切であったと感じた。安全に気をつけて遊ばせるようにはしているが、おきてしまった怪我等に対して丁寧に保護者に接することの大切さを痛感した。